

I エーゲ文明について表の空欄を埋めなさい。

文明	時期	中心地	発掘者	文字	特徴
(1) 文明	前 20 ～ 15 C	(2)	(3)	線文字 A (未解読)	平和的・海洋的
(4) 文明	前 16 ～ 13 C	(4) ティリス	(5)	線文字 B (6) が解読	戦闘的

II 古代ギリシアの歴史についての空欄を埋め、問に答えなさい。

平民が多数参加してたたかう (1) が軍隊の主力になると、平民は参政権を主張して貴族と対立しはじめた。ここから各ポリスにおける民主政への歩みが始まった。民主政が典型的な形で出現したのは、アテネであった。まず前 7 世紀に (2) によって法律が成文化され、ついで前 6 世紀初頭に (3) が貴族と平民の調停者として改革をおこない、血統ではなく (4) によって市民の参政権を定め、また負債を帳消しにし (5) を禁止した。やがて多くのポリスでは、僭主と呼ばれる独裁者が、平民の支持により非合法に政権を奪って僭主政治を実現した。アテネでは (6) が前 6 世紀半ばに僭主政治を確立し、中小農民を保護するなど平民層の力を充実させた。これら中小農民層は、のちに民主政の支持基盤となった。僭主政治の崩壊後、前 508 年にアテネの指導者となった (7) は、部族制の大改革をおこない、民主政の基礎を築いた。僭主の出現を防止するため (8) が定められたのも、このときである。

この頃、全オリエントを統一して大帝國となった (9) 朝の支配に対し、イオニア地方のギリシア人植民市が反乱をおこした。これをきっかけにペルシア戦争が始まった。ペルシアは反乱を支援したアテネに遠征軍を差し向けたが、民主政によって団結を強めたアテネ市民の重装歩兵軍は、前 490 年の (10) の戦いでペルシア軍をうち破った。その後前 480 年の (11) の海戦では、ギリシア連合軍がペルシアの大軍を再び大敗させた。翌年のプラタイアの戦いでギリシア側の勝利は決定的となった。

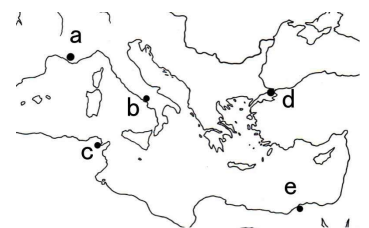
ペルシア戦争勝利後、エーゲ海周辺の多くのポリスはペルシアの再侵攻にそなえて (12) 同盟を結び、アテネはその盟主となった。アテネはほかの同盟諸国に対する支配力を強める一方、国内では (13) として戦争に参加する (14) の発言力が高まった。これを背景に前 5 世紀半ば頃、(15) の指導のもとでアテネ民主政は完成された。

問 1 ポリスについて以下の問に答えなさい。

- 1) 神殿が建てられた丘 (城山) と、集会や市場が開かれた広場を何というかそれぞれ答えなさい。
- 2) 各ポリスは独立していたが、民族意識を共有していた。それについて、ギリシア人は自分たちと異民族をそれぞれをなんと呼んだか答えなさい。
- 3) 代表的ポリスであるアテネの位置を右の地図から選びなさい。



問 2 植民市について、ネアポリス・ビザンティオン・マッサリアの位置をそれぞれ右の地図から選びなさい。



問 3 (15) の時に完成したアテネの民主政について、特徴を述べなさい。